

## 株式会社生命科学インスティテュート 社長 木曾誠一 2020 年年頭挨拶（要約）

新年明けましておめでとうございます。

昨年は元号が令和に改まり、天皇陛下のご即位に伴う様々な慶祝行事が執り行われ、日本中が祝いムードに包まれました。また、ラグビーワールドカップでの日本代表チームの活躍も話題となりました。国籍の異なる様々なバックグラウンドを持つ選手が、ベスト 8 進出という目標に向かって「ONE TEAM」になって闘う姿は、多くの人に感動を与えました。その一方で、台風 15 号、19 号による甚大な被害、沖縄の首里城消失など、大きな痛みの残った年でもありました。コンプライアンスに関わる問題も多く報道され、コンプライアンスの意識を浸透させることの難しさを考えさせられました。

われわれ生命科学インスティテュート (LSII) グループにとって、昨年は大きな変化の年でした。LSI メディエンス社のカーブアウト、健康ライフコンパス社の事業撤退というグループ会社の再編がありました。一方、API コーポレーション (APIC) 社では新しい合成技術であるフロー合成の共同研究が始まったことや新製品発売など、これまでのチャレンジが実を結びだしたことで、また、クオリカプス社ではハイブリッド錠剤マーキング装置が発売され、医薬品業界のプロたちから高い評価を受けていること、LSII では Muse 細胞製品の 4 つ目の疾患である脊髄損傷患者を用いた治験が始められたことなど、新たな芽吹きを感じる年でもありました。これらは皆さんの地道な努力の賜物と心より感謝いたしております。

さて、今年、2020 年は LSII グループにとって正念場の年です。現在、LSII で進めている Muse 細胞製品の治験について、脳梗塞などの主要なデータが今年の中頃に出てくる見込みです。再生医療に対する世の中の期待に、Muse 細胞製品が応えていくことができるのか、その答えが出る年になると考えています。もちろん、その答えは患者さんの希望の光となるものであると信じています。そして、そのためには、Muse 細胞を使った製品を安定的に作り、広く世の中に届けていく体制作りが重要で、各部署が一丸となって作り上げていかなければなりません。まさに、「One Team, One LSII」で乗り越えていかなければと思います。

一方で、医薬品事業を取り巻く環境は厳しさを増しており、それに関連する APIC やクオリカプスの事業環境も厳しいものとなってきています。しかしながら、両社とも先に述べたような素晴らしい強みを持っており、また、顧客との強い信頼関係もあり、きっとその中でも飛躍していくことができると期待しています。医療に貢献する仲間同士、共に助け合いながら、「One Team」となり取り組んでまいりましょう。

## 株式会社 生命科学インスティテュート

---

最後になりますが、われわれのビジネスはまずはコンプライアンスがあり、それがあってサイエンスがあり、そして、それらがあって初めてビジネスが成り立ちます。コンプライアンスがしっかりしていなければサイエンスもビジネスも成り立ちません。このことは私が社長になってからずっと申し上げていることであり、皆さんはもう十分に理解されていると思いますが、今一度、コンプライアンスの重要性を確認していただきたいと思います。そして、コンプライアンスの意識を浸透させるためにも、自由闊達な議論のできる、風通しの良い職場づくりを一緒に進めていきましょう。今年もよろしくお願いたします。

以上

[本件に関するお問い合わせ先]

株式会社生命科学インスティテュート 経営企画部 広報担当 TEL 03-6896-8743

株式会社三菱ケミカルホールディングス 広報・IR室 TEL 03-6748-7140